

保護者との意見交換会 記録要旨

【日 時】平成31年2月2日(土)15時00分～16時20分

【会 場】第二松江小学校 体育館

【意見交換内容】 当日いただいた意見の発言順になっています。

- 入学時に閉校するという説明は受けていなかったなので、動揺している。納得できる説明をしてほしい。
- アンケート後に要望書を出したが、閉校時期の見直しに対する回答は、本日のないということでしょうか。
本日はまだ、回答は出せない。本日の意見交換での意見も踏まえた上で、時期を決定し、回答する。長い間待たせることはしない。
- 1年生に子どもが在籍していて、その下に子どもが二人いる。転校先は、第三松江小学校にしたいと考えているが、通学区域外になるので、一番下の子どもだけ松江小学校にならないか心配。
兄弟が在籍していれば、指定校変更という制度で、同じ学校に入学することができる。
- 周辺校の登校の仕方を教えて欲しい。
第三松江小学校は集団登校(登校班)で登校している。松江小学校も集団登校(登校班)だが、登校班に入る条件として、子ども会への加入が必要となる。各学校の登校形態に合わせていただくことになる。通学路の安全対策の一環として、2月に第二松江小学校と第三松江小学校の通学路の合同点検を行う。
P T A 補足 第三松江小学校は、校外委員が登校班を決め、各班で検討している。松江小学校は、子ども会に入っていないと登校班に入れられないため、各自での登校になる。西小松川小学校に登校班はない。
- 転校時の学用品、タイムカプセル(100周年の時の物)、卒業アルバムについてはどうなるのか。
学用品については、はっきりと決まっていない段階なので説明はしていない。タイムカプセルについては、閉校時期が決まった後に、管理する代表者や学校と相談して決める。何か考えがあれば、提案していただければと思う。卒業アルバムについては、閉校の年に閉校記念誌を区の予算で作成し、在校生や閉校式の出席者に配布している。転校先の学校で卒業アルバムを購入するかは、各家庭の判断となる。第二松江小学校と周辺校での写真のデータのやり取りについては、区の方も対応を考えなくてはならないと認識している。
- 閉校記念誌は、何年生に配布するのか。
閉校時、在籍している児童全員に配布する。また、地域の方や卒業生(閉校式に出席した方)にも配布している。

- (閉校記念誌は) 卒業生がもらうような卒業アルバムとは、違うのか。
予算等も決まっているので、そんなに分厚い作りではなく、在校している児童を中心に各学年で校正し、組み立てている。また、地域については学校と関わりの深い方たちがいれば、活動の様子を掲載することもできる。構成に決まりはないので、学校や保護者の意見を詰め込んでもらって構わない。
- 卒業生がもらうような厚みのあるものではなく、薄いものなのか。
予算は決められているが、一般的な記念誌(周年行事で配布する記念誌)と同等な物は作成できる。上質な紙を使用したりすると、予算がそこに削られ、冊数が少なくなってしまう。
- 閉校記念誌は区で作成してくれるのか。
区がかかわる部分は、予算計上と区長・教育長からのあいさつ。構成は、学校に委ねている。
- 今までに閉校した学校の閉校記念誌を見せて欲しい。第二松江小学校は児童数も多いので、どの程度の物が作成できるか知りたい。
閉校記念誌の予算については今までの学校と比べ児童数が多いということを考慮してもらえよう掛け合う。過去の閉校記念誌については、閲覧用に貸し出せるよう調整する。
- 閉校記念誌は、閉校前に転校した児童にも配布するのか。
配布しない。予備があれば、対応できるかもしれないが、閉校前に転校した児童の分までは厳しいと思う。
- 閉校記念誌と卒業アルバムは全然違う。
そのとおりだと思うが、区の方針として、閉校記念誌を作成することで対応させてもらっている。実現できるかはわからないが、転校先の学校で卒業アルバムを作成するときに、第二松江小学校に在籍していたときの写真も掲載してもらえよう相談はしてみる。そのためにも写真データを取っておいてもらった方が良くと思う。
- 転校先の各学校で卒業アルバムを作成するときに第二松江小学校の児童にも対応してもらえよう、区の方で確約を取ってもらいたい。
閉校時期がはっきりしていない段階では、確約できるとは約束できないが、努力はさせていただきます。
- タイムカプセルを開封するのは平成36年の予定だが、閉校後の保管先は考えているのか。寄贈されたものなので、思いを大事にしてもらいたい。
閉校時期が決まってから、整理していく課題の一つとしてどのように調整していくか考えていく。

- 今年を入れて3年で閉校というのは、まだ決まっていないということで良いのか。
そのとおり。もう少し保護者の皆様の意見を聞いて決めたいと考えている。
- 現在、提示されている年数の1年前になっていきなり、決定と言われることもあるのか。
それはありえない。近いうちに閉校時期については、発表させていただく。
- 閉校時期が決定するまで、どのくらいかかるのか。
年度内か来年度の1学期中には、はっきりさせたいと思っている。
- 早く閉校して欲しいわけではなく、閉校時期を早く決めて欲しい。
そのことについては、こちらも理解している。
- 閉校することが確定だと思って、他校を選んでいる保護者もいる。閉校時期が延びて、第二松江小学校にすれば良かったという家庭には対応してもらえるのか。
就学担当の部署と個別に相談していただくことになる。ただし、学校の学級編成にかかわってくるので、必ず対応してもらえるという約束はできない。
- 教育委員会のホームページを見ると、閉校時期がはっきりと掲載されているので、周りから「閉校時期、決まったんでしょ」と、言われる。
閉校時期についてはまだ決まっていないということをホームページに記載させていただく。(2月5日対応済)
- アンケート回答を読むと閉校を希望している意見が多く、閉校時期を延ばして欲しいといった意見は複数回答で片づけられていて、何件意見があったかも記載がない。作為的に感じる。
アンケートの自由意見で記載があった意見について区の考えを伝えるために作成した。複数回答があったものについては、件数を出すことはできるが、その必要はないと判断し、複数回答と記載した。作為的に感じられたのであれば仕方がないが、作為的に作成したものではない。(修正したアンケート回答を保護者全員に配布)
- P T A主催で行ったアンケートが保護者の意見だという認識はできないのか。
皆様の意見を重く受け止めているので、今回の意見交換会を開催することとした。区の方針としての「平成33年3月末閉校」という時期は、今も軸としてある。しかし、アンケート調査の結果を受け、このまま強行に推し進めていくことは本意ではないので、一旦、立ち止まり皆様の意見を聞かせていただくことにした。
- 今回の意見交換会は、どのような趣旨で行われているのか。
教育的立場・設置者としての立場から、年数を提示させていただいた。しかし、区の方針に対するアンケート調査の結果を受け、保護者の皆様からの強い思いを感じたので、向き合わずに進めていく訳にはいかないと思い、こうした会を開催した。

- 意見交換会の内容は反映されるのか。
反映するという意味が、(区が提示した閉校時期に対して) 反対意見が多いから延期してもらわないと困るという意味であるとするなら、約束はできない。
- 保護者の意見を聞いて、どのような話し合いが行われたのか、どういった資料を見て閉校時期を決めたのかを公表して欲しい。納得できるようにしてもらいたい。
出せる資料と出せない資料(行政資料)があるので、どのように示せるかを検討させていただく。
- 児童数の推移(過去の推移と今後の推移)のシミュレーションを出して欲しい。
就学担当と検討させていただく。
- 閉校時期を決める組織はどういった組織で、どのように決めるのか。第二松江小学校の保護者の気持ちを感じてもらえるような人が決めるのか。
教育委員会事務局内の関係部署で協議・検討し決めていく。皆様の思いについては、我々が伝えさせていただく。
- 学校配置計画課は、保護者の意見を聞いて抵抗してくれるのか。
「はい、そうします」とは言い難い。閉校年度を決めるにあたっては、保護者の皆様の意見も大事だと思っているが、それだけでは決められない。教育的立場の視点から、児童数や建物に関する事等を総合的に考えて決めていくことが必要となる。
- 「5年5か月後だと児童数が100名以下になることが予測される」とあるが、来年度30名弱が入学する。本当に100名以下になるのか。
5年後になると、入学する児童と卒業する児童に差が出てくる。そのことを加味して回答させていただいた。
- 閉校の話がなければ、50名程度入ってくる予定だったのではないか。
閉校の件で入学率が下がったことは認めるが、第二松江小学校の入学率は元々、低めであるため、50名が全員入学するわけではない。
- 子どもは転校したくないと言っている。児童数が減ると教育環境が保てないという問題はあと思うが、それをわかった上で、年数を延ばして欲しいと意見を出している。子どもの気持ちを考えて判断しているということを重く受け止めて欲しい。
転校させたくないという気持ちはわかるが、我々としては、その部分と切り離して教育的立場から見ていかなくてもいけない面がある。保護者の皆様の思いは受け止めたので、事務局内で整理させていただく。
- 児童交流について、詳細が決定したら伝えたとあるが、具体的に何を何回程度行うといったことが発表されるのか。
(児童交流は)閉校時期に限らず、早くからできるものがあるなら実施していきたいという意識があったので、周辺校の校長先生に集まっていただき、話し合いを行った。今後は先生方を中心に調整していく。ある程度まとまった段階で、お伝えしたい。

- 閉校時期が延びた場合は、閉校時期の2年前くらいから行うということか。
回数を重ねた方が子どもたちもスムーズに馴染めるということ、今までの経験から感じているので、学校運営にあわせて徐々に進めていく。
- 具体的な児童交流が決まっていない状況で、2年後に閉校ということはあるのか。
最短(平成33年3月末)での閉校という可能性を無くしたというわけではないので、それに向けて(児童交流についての)調整を進めていく。
- (本日、配布された)アンケート回答を欠席した保護者にそのまま配布してしまうと、誤解を与えてしまうので、作り直して欲しい。
内容について、もう一度整理した上で、修正したものを保護者全員に配布させていただく。配布前にはPTA会長に確認していただく。